

マスクJIS規格の制定について

2021年6月16日にマスクのJIS規格が制定されました。マスクの性能及び試験方法について標準化を図り、使用者が安心して選択、購入、使用できるマスクの普及が目的になります。

医療用及び一般用のマスクを対象	JIS T9001 医療用及び一般用マスクの性能要件及び試験方法
コロナ感染対策に従事する医療従事者用のマスクを対象	JIS T9002 感染対策医療用マスクの性能要件及び試験方法

参考：経済産業省HP/マスクの日本産業規格(JIS)が制定されました
<https://www.meti.go.jp/press/2021/06/20210616002/20210616002.html>

JIS T9001の主なポイント

規定された試験方法により試験を行い、捕集機能、圧力損失、安全・衛生項目等の性能要件を満たしていれば、材質、形状は限定していません。

医療用マスク

一般医療、介護などに従事する方々が使用するマスクについて規定しています。医療用マスクに必要な捕集機能、人工血液バリア性について、クラスⅠ、Ⅱ、Ⅲの3つにクラス分類し、また、共通の圧力損失（通気性）、安全・衛生項目を規定しています。

一般用マスク

一般消費者が使用するマスクです。4つの捕集機能（微粒子状物質、バクテリアを含む飛まつ、ウイルスを含む飛まつ、花粉粒子）と圧力損失（通気性）、安全・衛生項目を規定しています。

**ボークンではJIS T9001に準じた
試験評価について受付いたします。**

(VFE試験、花粉粒子捕集効率を除く)
(日本衛生材料工業連合会の認定機関については申請中)



試験項目と基準値

JIS T 9001 医療用マスク品質基準

試験項目	単位	医療用マスク		
		クラス 1	クラス 2	クラス 3
微小粒子捕集効率 (PFE)	%	≥95	≥98	≥98
バクテリア飛まつ捕集効率 (BFE)	%	≥95	≥98	≥98
ウイルス飛まつ捕集効率 (VFE)	%	≥95	≥98	≥98
圧力損失	Pa/cm ³	<60	<60	<60
人口血液バリア性	kPa	10.6	16.0	21.3
可燃性	—	区分 1		
遊離ホルムアルデヒド	μg/g	≤75		
特定アゾ色素※	μg/g	≤30		
蛍光※	—	著しい蛍光を認めず		

JIS T 9001 一般用マスク品質基準

試験項目	単位	一般用マスク	
微小粒子捕集効率 (PFE)	%	≥95	製品について機能を標ぼうする項目について実施。捕集効率の表示を最低1つする必要があり試験要。
バクテリア飛まつ捕集効率 (BFE)	%	≥95	
ウイルス飛まつ捕集効率 (VFE)	%	≥95	
花粉粒子捕集効率	%	≥95	
圧力損失	Pa/cm ³	<60	
遊離ホルムアルデヒド	μg/g	≤75	
特定アゾ色素※	μg/g	≤30	
蛍光※	—	著しい蛍光を認めず	

※ 着色又は染色された製品についてだけ試験を適用する。

※ 生成された特定芳香族アミン24種それぞれが30μg/g以下でなければならない。

※ マスクの呼吸に係る本体部(耳掛けゴムなどの付属品を除く)だけに適用する。

一般用マスクにおいて洗濯可能回数を表示している場合は、表示された回数で洗濯処理した後も品質基準に適合しなければならない。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京試験センター

担当：小池 (y-koike@boken.or.jp)

所在地

〒135-0001

東京都江東区毛利1丁目12番1号

TEL：03-5669-1380

大阪試験センター

担当：中林 (a-nakabayashi@boken.or.jp)

所在地

〒552-0021

大阪市港区築港1丁目6番24号

TEL：06-6577-0200